

小規模企業景気動向調査

[平成31年1月期調査]

～建設業が大幅に悪化し、産業全体でも悪化に転じた小規模企業景況～

2019年4月15日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2019年1月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…建設業が大幅に悪化し、産業全体でも悪化に転じた小規模企業景況…◇

1月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)はわずかに、売上額DIは小幅に悪化した。採算DIと資金繰りDIは不変であった。波はあるものの、堅調に回復基調であった建設業が大幅に悪化したため、全体にも影響が及んだ。昨年と比べると降雪が少なく、除雪需要が乏しく建設業に影響が出ている。また、好天が続いたことで、飲食業や小売業において景況感の好転を期待していたものの全国的なインフルエンザの大流行により、消費が抑えられ、売上が伸びないとのコメントが寄せられた。

<製造業> ◇…消費税増税を控え、一部業種に受注回復の兆しがあるが、その範囲は限定される製造業…◇

製造業の業況DIは小幅に悪化、売上額DIはわずかに悪化、採算DIはわずかに改善した。経営指導員からは、今年10月の消費税増税を控え、業務用機械器具製造業では、工場の設備投資や更新計画を予定している声や生活家電や自動車部品の一部製品を製造する業種では、受注が増えてきているとのコメントがあった。一方で、引き続き、人手不足や働き方改革への対応を懸念する声も大きく、また、米中貿易戦争のあおりを受けて金属製品製造業や電子部品製造業では、受注が減少しつつある。

<建設業> ◇…暖冬による除雪作業の減少、工事単価の抑制や外注費増大の影響で大幅に悪化した建設業…◇

建設業は先月から一転、全項目で悪化となった。特に業況DIと売上額DIは大幅に悪化となった。経営指導員からは、暖冬の影響で除雪作業が少ないとの声や、民需では大手のハウスメーカーの参入により工事単価が抑えられ、利益率が低くなっているとのコメントがあった。また、人手不足の影響から外装関連の職別工事業では、工事依頼が増えてきてはいるものの、自社で応じられない工事を他社にまわすため、外注費が増えてきているとの声が寄せられた。

<小売業> ◇…一部で売上増加の業態があるも、暖冬で消費者の流出の影響を受ける小売業…◇

小売業は、業況DIと採算DIが先月に続き、わずかに改善し、売上額DIと資金繰りDIは先月から一転、わずかに悪化した。経営指導員からは、観光客・行楽客向けのコンビニエンスストアなど一部店舗や高齢者向けに配達サービスを備えている飲食料点小売業やでは売上を伸ばしてきているとの声が聞かれた。一方で例年は雪や寒さにより来客数の落ち込みが見られるが、今年は暖冬により影響は少ないものの、域外に消費者が流出しているとのコメントが見られた。

<サービス業> ◇…暖冬により一部地域は好調も、スキー客等季節需要の減少に悩むサービス業…◇

サービス業は採算DIのみがわずかに悪化した。それ以外は3ヶ月連続で改善した。観光関連のサービス業では、天候に恵まれたこと、比較的温暖であったことから人出があった。一方で、インフルエンザの大流行により宿泊客のキャンセルに見舞われたり、バスの燃料費の高騰やレジャーの多様化、長年にわたるスキー人口の減少の影響からスキー場関連の宿泊業では観光客の落ち込みが激しい。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	12月	1月	前月比	12月	1月	前月比	12月	1月	前月比
売上額	▲ 7.8	▲ 10.6	▲ 2.8	▲ 5.4	▲ 5.9	▲ 0.5	12.6	3.9	▲ 8.7
採算	▲ 13.3	▲ 13.6	▲ 0.3	▲ 13.6	▲ 12.7	0.9	▲ 3.9	▲ 6.4	▲ 2.5
資金繰り	▲ 9.0	▲ 9.0	0.0	▲ 8.0	▲ 8.0	0.0	▲ 2.8	▲ 3.9	▲ 1.1
業況	▲ 11.5	▲ 12.6	▲ 1.1	▲ 10.7	▲ 13.0	▲ 2.3	6.1	1.0	▲ 5.1

業種	小売業			サービス業		
	12月	1月	前月比	12月	1月	前月比
売上額	▲ 23.0	▲ 25.1	▲ 2.1	▲ 15.5	▲ 15.0	0.5
採算	▲ 22.7	▲ 20.9	1.8	▲ 12.9	▲ 14.3	▲ 1.4
資金繰り	▲ 15.5	▲ 16.6	▲ 1.1	▲ 9.7	▲ 7.8	1.9
業況	▲ 25.0	▲ 23.8	1.2	▲ 16.7	▲ 14.5	2.2

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。